



PDA 即興型英語ディベート京都交流大会2025

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2025 年 11 月 3 日（日・祝）13:30-17:00

会場：京都市立日吉ヶ丘高校 英語村

参加者：生徒 52 名、教員 11 名（京都府立嵯峨野高等学校、京都府立鳥羽高等学校、京都府立東宇治高等学校、京都府立洛北高等学校、京都市立日吉ヶ丘高等学校、京都市立開建高等学校、京都市立堀川高等学校）

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、東京大学、広島大学、九州大学

京都市立日吉ヶ丘高校英語村に 7 高校 14 チームが集い、今年度 2 回目となる即興型英語ディベート京都交流大会 2025 が開催されました。はじめに、PDA 代表理事の中川智皓から「対面での開催なので、交流を通してより多くの生徒と仲良くなってください。いろんな意見を取り入れる機会としてください。」と応援のメッセージが送られました。次に、京都市立日吉ヶ丘高等学校の太山校長先生より開会のご挨拶をいただきました。「ディベートを通して英語でのコミュニケーションやチームワークなどを身につけてください。ディベートは勝敗がついて楽しいものですが、誰の主張が正しいかという判断ではなく、異なる視点や価値観を理解して、答えのない問題に対して深い理解ができるように、自信を持って頑張ってください。」と英語でエールが送られました。

次に参加校の紹介です。それぞれの学校が息を合わせ、明るく元気な挨拶を披露しました。続いては、POI（Point of Information: ディベート中の質問）の練習やルール of 最終確認です。確認を終えるといよいよ本番のディベートが幕を開けました。



太山校長先生の挨拶



開会式の様子

1 ラウンド目の論題は、“**Term-exam should be abolished.** (定期テストは廃止すべきである。)”でした。定期テストが生徒にとってストレスになるのか、むしろ動機づけとなっているのかという論点や、定期テストが学習の定着を促し学力向上に繋がるのか、廃止した方が暗記ではなく思考力や課題解決力などの真の学力が向上するのかという論点、公平性の観点など、多角的な視点から白熱した議論が展開されました。ラウンド後には、相手チームと具体例の出し方のアドバイスを行ったり、「修学旅行はどこにいった？」などの会話をしたりと交流を楽しみました。



スピーチの様子：日吉ヶ丘 A VS 堀川 A



スピーチの様子：東宇治 A VS 開建 A



スピーチの様子：鳥羽 B VS 東宇治 B・嵯峨野



スピーチの様子：開建 B VS 洛北



スピーチの様子：嵯峨野 C VS 日吉ヶ丘 B・嵯峨野



スピーチの様子：嵯峨野 A VS 鳥羽 A



ラウンド後の交流の様子(日吉ヶ丘 A VS 堀川 A)

続く 2 ラウンド目の論題は “**Anonymous writing on the Internet should be prohibited.** (インターネット上での匿名の書き込みは禁止されるべきだ。)” でした。肯定側は、匿名による心無いコメントによって命を落とす人がいる現状や、フェイクニュース等の拡散が起きている現状について分析し、匿名の書き込みを禁止する重要性を主張しました。一方、否定側は、LGBTQ のコミュニティー形成に匿名のネット上での環境が不可欠であることや、個人情報を守る重要性など、異なる視点から議論を展開しました。



P01 の様子：堀川 A VS 嵯峨野 A



スピーチの様子：開建 A VS 日吉ヶ丘 B・嵯峨野



スピーチの様子：東宇治 B・嵯峨野 VS 嵯峨野 C



握手：堀川 A VS 嵯峨野 A



スピーチの様子：洛北 VS 日吉ヶ丘 A



真剣にジャッジの好評を聞く様子：堀川 B VS 開建 B

2 回の実践を終えると、ジャッジによる「ぜひこの生徒のスピーチをもう 1 度聞きたい」という推薦に基づいて選出された生徒によるエキシビションディベートです。まずはその代表者 7 名が発表されました。論題は、**“It is better to confess your love through social media than face-to-face. (対面よりもソーシャルメディアで愛を告白の方が良い。)”** でした。多くの友人や他校の生徒、先生が見守る中で、出場者たちは最後まで自信を持ってスピーチをやり切りました。それぞれが相手の発言にしっかり耳を傾け、内容を深く受け止めた上で、的確な反論や議論の再構築に挑んでいる様子が際立っていました。



エキシビションディバートの様子

閉会式では表彰式のあと、京都市立日吉ヶ丘高等学校の太山校長先生より閉会のご挨拶をいただきました。「ディバートで培った多面的に考え、論理的に話す能力は、多文化の中で協働し、将来的に世界で活躍するための基礎的な力になる。今日の経験を日常にも広げ、周りの人と気軽に意見交換をして、ディバートの観点を楽しみながら深めていってください。」と参加した高校生へ激励のメッセージが送られました。



集合写真

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

・ PM	鳥羽高校	_____さん
・ LO	開建高校	_____さん
・ MG	洛北高校	_____さん
・ MO1	東宇治高校	_____さん
・ MO2	日吉ヶ丘高校	_____さん
・ LOR	嵯峨野高校	_____さん
・ PMR	堀川高校	_____さん



★は 2 回選ばれた生徒

〈ベストディベータ賞〉

_____さん(嵯峨野 A)★
 _____さん (開建 B)★
 _____さん (開建 A)★
 _____さん(嵯峨野 C)
 _____さん(嵯峨野 C)
 _____さん(東宇治 B・嵯峨野)
 _____さん(嵯峨野 B)
 _____さん(嵯峨野 B)
 _____さん(鳥羽 B)
 _____さん(東宇治 A)
 _____さん(開建 A)
 _____さん(洛北)
 _____さん(洛北)
 _____さん(堀川 B)
 _____さん(堀川 A)

〈ベスト POI 賞〉

_____さん(日吉ヶ丘 A)★
 _____さん(堀川 B)★
 _____さん(堀川 A)★
 _____さん(嵯峨野 B)
 _____さん(嵯峨野 A)
 _____さん(日吉ヶ丘 B・嵯峨野)
 _____さん(鳥羽 B)
 _____さん(鳥羽 A)
 _____さん(開建 B)
 _____さん(開建 B)
 _____さん(開建 A)
 _____さん(開建 A)
 _____さん(開建 A)

〈チーム賞〉

- 1 位 嵯峨野高校 A チーム
- 2 位 日吉ヶ丘高校 B・嵯峨野
- 3 位 洛北高校
- 4 位 嵯峨野高校 B チーム
- 5 位 堀川高校 A チーム



1 位 嵯峨野高校 A チーム



2 位 日吉ヶ丘高校 B・嵯峨野



3 位 洛北高校



4 位 嵯峨野高校 B チーム



5 位 堀川高校 A チーム

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分の英語力を全力でぶつけた時に相手に正しく伝わったことが嬉しく、楽しかった。是非来年も参加したい。(開建)
- ・夏休みの大会の時から、ディベートをたくさん練習したかいがあったので、とても楽しかったし、ジャッジの人からのコメントはこれからの学びに繋げていきたいと思った。今後もこの大会に参加して、たくさんの高校生と仲を深めていきたいと思った。(嵯峨野)
- ・色んな高校の高校生たちがそれぞれ前よりも素晴らしいディベートをしていてとてもよかった。(鳥羽)
- ・論理的なコメントを頂けて、自分たちの倫理性を鍛えるきっかけとなった。(堀川)
- ・初参加だったけど、いろんな視点で考える面白さ、そして即興英語の難しさを学んで、とても有意義な時間になりました。もっと回数を増やしてこの大会をしたいくらいです！(洛北)
- ・以前より成長は少し出来たと思うけど、これからも英語を頑張ろうと感じられる機会となりました。(日吉ヶ丘)
- ・自分の意見を英語で伝えるのは楽しい。(開建)
- ・前回に引き続き他校と交流できて楽しかったです。(東宇治)
- ・英語で言いたいことはいっぱいあるけど、それをどういうふうに表現するかがとても重要になることを実感しました。面白かったです。(日吉ヶ丘)
- ・他校の方とも交流できて英語の能力を向上させるととても良い機会になりました。(洛北)
- ・今回、見学として初めて大会に来たがすごく面白かったです。次の大会からは自分もエントリーしたいと思いました。(鳥羽)
- ・生徒の生き生きした姿を見られた(教員)